

コープやまぐち奨励賞 たんぽぽの会小郡『夏休み子ども昭和塾』部

代表者 栗林 由夏（子育て分野／山口市）

活動の動機・目的

昭和40～50年代に小学生だった大人（母親）たちの夏休みは、学校が休みの間は、家庭や地域で深い人間の関わりがあり、目上の人との接し方や協調性、相互扶助など、多々成長させられた記憶がある。「地域が子どもを育てる」「向こう三軒両隣」など、今の子どもたちには無縁とは言わないが、縁遠い話。そんな危惧から、我が子だけでなく、地域の子どもたちに「エアコンもない、ゲームも携帯電話もない、コンビニも無い」昭和の夏休みを体験させようと母親たちが立ち上げた。

昭和の小学生に習い、ラジオ体操に始まり、夏休みの宿題・球技大会の練習に明け暮れた中、協調性や責任感を育て、弱きを助け、共に活動する力を子ども達につけてほしいとの思い。

活動の内容

2010年の夏休みから毎年、夏休み上旬を利用して小学生対象の「夏休み子ども昭和塾」を開催。内容は以下（2015年度）。毎年30～50人の小学生が朝9時までにゴミを拾いながら通塾。

①9時～朝の会のあいさつ 「名文暗唱」

②9時20分～ 夏休みの宿題（共に懐かしい問題を古い頭で解いたり、逆に課題を出してみたり）

③10時～日替わり講義（知・徳・体・食育等の分野を地域の先輩方や外部講師を招く）実施。

初日 「ウン知育教室」・・・山口市食育ボランティア

2日目「大作に挑戦？自由研究？」習字・絵・自由研究・・・山口市子ども会連絡協議会小郡支部

3日目「昭和食育キッチン」・・・ にじの会 食育指導士 かりんとうづくり（パンの耳を使用）。

4日目「防災（天災や戦争）について」・・・東日本大震災のボランティアに毎年行っている代表者による復興状況報告と戦後70年を踏まえ、戦争関連の絵本の読み聞かせと感想交流等。

5日目「花燃ゆの我が小郡を学ぶ」・・・小郡文化資料館スタッフ（山口市観光課お気軽講座）

6日目「手作り紙芝居による山口昔話」・・・小郡昔話研究会

7日目「エネルギーについて考える」・・・中国電力わくわくEスクール（実験あり）

④10時40分～ 野外活動、ドッチビーの練習。

⑤12時 あいさつ、終了。

最終日には、みんなで奉仕作業実施。子供会が作っているサツマイモ畑の草取りや地区のゴミ拾いを行った。毎年母親たちからの手作りクッキー等のお土産と手作りの終了証を渡している。

これからめざしたいこと

どの子ども達からも「楽しかった！また来たい！」と言われ、夏の苦労が報われる。学年が違う子ども同士なので、喧嘩もあったり、本気で怒ることもあるが本当に懐いてくれて嬉しい。その中で「子どもは宝」と、どの子どもも我が子のように接して、得るものの大きさを感じた。

6年経過して、ずっと活動してきた人、入れ替わり新しく活動に加わった人などいるが、1地区でなく、もっと活動する地域を広げ、仲間を増やすことも望むところ。さらに、メンバーが一ボランティアで終わるのではなく、それぞれ地域活動や男女共同参画に声を上げる、旗を振ることのできるイニシエーターになれるよう、そういう後継者を育てていくことを目指す。



紙芝居
山口昔話



昭和食育キッチン
かりんとう作り